日本セラミックス協会 第52回基礎科学部会セミナー

テーマ：「セラミックスと計算科学」

内容： 計算科学・情報科学の進展により、様々な分野で新しい研究手法が生まれつつあります。セラミックス材料やデバイスにもすでに計算科学は広く応用されていますが、単結晶や分子と異なり、固体の構造、物性、粒界、プロセス、表面反応等が密接に関連するセラミックスにおいては、まだまだ今後の発展が期待されます。本セミナーでは、セラミックスにおける計算科学の現状と今後の展望に関して、ビッグデータとの関連、構造・相図の予測、蛍光体開発、触媒、電子機能、プロセス等について現在ご活躍の先生・研究者にご講演をお願いしております。実験家にも分かりやすい解説をお願いしておりますので、奮ってご参加下さい。

主催： 日本セラミックス協会基礎科学部会
協力： 日本セラミックス協会東北・北海道支部

日時： 平成３０年６月１日(金)―２日(土)
会場: かんぽの宿小樽(北海道小樽市朝里川温泉2丁目670番地､JR 小樽/小樽築港駅からバス30分)

申込・問い合わせ先：北海道大学　島田敏宏　shimadat@eng.hokudai.ac.jp

参加費（予定）：一般5000円、学生2000円
小樽市街は遠いので、会場での宿泊を推奨します。宿泊費・食費が約10000円かかります。
2日目終了後、小樽築港駅までマイクロバスが出ます。

プログラム　（敬称略）
１日目（６月１日）
14:15-15:05 産総研・永田賢二「統計情報物理と固体材料」
15:05-15:55 岡山大学・難波徳郎
「計算科学と実験を組み合わせたガラスの形成過程と化学結合状態の評価」
15:55-16:10 休 憩
16:10-17:00 北海道大学・中山 哲「第一原理シミュレーションによる固体触媒反応解析」
18:00-20:00 懇親会

2 日目（６月２日）
9:00-9:50 北海道大学・前田 理「反応経路自動探索法による構造探索」
9:50-10:40 北海道大学・大野宗一「合金の材料組織シミュレーション」
10:40-10:55 休 憩
10:55-11:45 北海道大学・三浦章「セラミックスにおける第一原理計算とインフォマティックス」